

第5次豊川市障害者福祉基本計画等策定のための アンケート調査へのご協力をお願い

日頃より豊川市の福祉行政にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

豊川市では現在、令和9年度を初年度とする「第5次豊川市障害者福祉基本計画」、「第8期豊川市障害福祉支援計画及び第4期豊川市障害児福祉支援計画」の策定に向けた取り組みを進めています。そのため、市民の皆さまの福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定や施策推進に役立てるためのアンケート調査を実施いたします。

今回の調査では、障害児通所支援サービス利用者及び18歳未満の障害者手帳（以下「手帳」という。）をお持ちの方にアンケートを配布させていただいております。

この調査は、無記名でご回答いただきますので、回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。調査票は豊川市個人情報の保護に関する法律施行条例にしたがい、適切な管理をいたします。

また、ご回答いただいた内容は、統計的な処理を行い、計画策定及び施策推進のための基礎資料としてのみ使用し、その他の目的で使われることは一切ありません。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和8年7月 豊川市長 竹本 幸夫

＜記入にあたっての注意点＞

- このアンケート調査票は保護者の方がお答えください。設問内容によりお子さんのご意見を伺いながら回答していただいてもかまいません。
- 質問への回答方法は、それぞれ質問文に記載していますので、質問文をよく読んで、鉛筆か、黒または青のボールペンでお答えください。
- この調査票は、紙面での回答の他、下記URLまたは右下の二次元コードから、パソコンやスマートフォンでの回答も可能です。（パソコンやスマートフォンで回答した場合、この調査票の郵送は不要です。）

【回答URL】 <https://smilesurvey.co/s/c8570fd4/o>

- 7月29日（水）までに同封の返信用封筒を用いてのご返送、またはWEBにてご回答ください。（返信用封筒に切手の貼付は不要です。）
- このアンケート調査へのご質問などは、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

豊川市役所 福祉部 障害福祉課 （担当：原田・堀川）
電 話：0533-89-2131
FAX：0533-89-2137



1. 宛名のお子さんの性別・年齢などについて

問1 お答えいただくのは、どなたですか。（○は1つだけ）

- | | |
|------------|--------------------------------|
| 1. 父 | 2. 母 |
| 3. 両親以外の家族 | 4. その他（ ） |

問2 お子さんの性別をお答えください。（○は1つだけ）

※選択することに違和感のある場合は「3. 無回答」に○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 無回答 |
|-------|-------|--------|

問3 お子さんの年齢をお答えください。（令和8年7月1日現在）（数字を記入）

満

歳

2. お子さんの状況について

問4 お子さんはどの手帳をお持ちですか。（あてはまるものすべてに○をつけ、級または判定を記入してください。）

- | | |
|---|-------|
| 1. 身体障害者手帳（ 級） | → 問5△ |
| 2. 療育手帳（判定 ） | } 問6△ |
| 3. 精神障害者保健福祉手帳（ 級） | |
| 4. その他（ ） | } 問7△ |
| 5. 手帳は持っていない | |
| 6. わからない | |

【問4で「1. 身体障害者手帳」と答えた方にお聞きします。】

問5 主たる障害をお答えください。（○は1つだけ）

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 視覚障害 | 2. 聴覚障害 |
| 3. 音声・言語・そしゃく機能障害 | 4. 肢体不自由（上肢） |
| 5. 肢体不自由（下肢） | 6. 肢体不自由（体幹） |
| 7. 内部障害（1～6以外） | |

問6 手帳をはじめて交付されたのはいつですか。(○は1つだけ)

- 【ここからは、またすべての方にお聞きします。】

①小児慢性特定疾病の認定	1. 診断されたことがある	2. 診断されていない
②発達障害	1. 診断されたことがある	2. 診断されていない
③高次脳機能障害	1. 診断されたことがある	2. 診断されていない
④医療的ケア	1. 必要とする	2. 必要としない

※医療的ケア：人工呼吸器を使用している人や胃ろうを造設している人へのたんの吸引や、経管栄養などの医療行為です。

1. 家族が気が付いた
2. 定期健診（乳幼児健康診査）
3. 医師からの助言
4. 保育所・幼稚園・学校の先生からの助言
5. 子育て支援センターからの助言
6. 児童発達相談センターからの助言
7. その他（ ）
8. 覚えていない

3. お子さんの生活や支援の状況について

問10 お子さんは、平日の日中、主にどのように過ごしていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 幼稚園・保育所・こども園に通っている
2. 小・中学校の通常学級に通っている
3. 小・中学校の通級指導教室に通っている
4. 小・中学校の特別支援学級に通っている
5. 特別支援学校に通っている
6. 高校や専門学校に通っている
7. 児童発達支援事業所に通っている
8. 福祉サービス事業所に通っている
9. 家にいる
10. その他（ ）

問11 お子さんの将来を通して地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 在宅で医療的ケアなどが適切に受けられること
2. 障害者に適した住居が確保されること
3. 必要な在宅サービスが適切に利用できること
4. 生活訓練などが充実していること
5. 経済的な負担が軽減されていること
6. 相談対応などが充実していること
7. 地域住民などから理解されていること
8. その他（ ）
9. 特にない

4. お子さんの外出や余暇活動について

問12 普段の生活の中で、お子さんは1週間のうちにどの程度外出していますか。（○は1つだけ）

1. 毎日外出する
2. 1週間に数回外出する
3. めったに外出しない
4. まったく外出しない
- 問13~14へ
問15へ

【問12で「4. まったく外出しない」以外と答えた方(外出している方)にお聞きします。】

問13 お子さんは、どのような目的で外出することが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 通勤・通学・通所 | 2. 訓練やリハビリに行く |
| 3. 医療機関への受診 | 4. 買い物に行く |
| 5. 友だちと遊ぶ | 6. 趣味やスポーツをする |
| 7. グループ活動に参加する | 8. 散歩に行く |
| 9. その他 (|) |

【問12で「4. まったく外出しない」以外と答えた方(外出している方)にお聞きします。】

問14 お子さんが外出中に知りたい情報を入手することについて困ったことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------------|---|
| 1. どこに情報があるかわからない | |
| 2. 表示が見えにくい(文字が小さいなど) | |
| 3. 情報の内容が難しい、説明が不足している | |
| 4. 点字版、録音テープや音声コードなどによる情報提供が少ない | |
| 5. 手話での情報保障が少ない | |
| 6. パソコンやスマートフォンの使い方が分からない | |
| 7. 特に困っていない | |
| 8. その他 (|) |

【ここからは、またすべての方にお聞きします。】

問15 お子さんに参加してほしいと思うスポーツや文化活動は何ですか。(現在参加しているものも含む)(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|---|
| 1. コンサート・映画・スポーツなどの鑑賞 | |
| 2. スポーツ教室・大会などへの参加 | |
| 3. 旅行・キャンプ・釣りなどへの参加 | |
| 4. 学習活動 | |
| 5. 趣味の同好会活動 | |
| 6. ボランティアなどの社会活動 | |
| 7. 障害のある仲間との活動 | |
| 8. 自治会や地域の活動(地域の行事など) | |
| 9. 学校・職場の行事 | |
| 10. わからない | |
| 11. その他 (|) |
| 12. 特にない | |

5. サービスについて

問16 お子さんは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。
 ((1)から(26)のサービスについて、「現在の利用」、「今後の利用意向」でそれぞれ〇は1つだけ)

障害福祉サービス名	現在の利用		今後の利用意向	
	利用 している	利用して いない	利用 したい	利用 しない
(1) 居宅介護・重度訪問介護 ホームヘルパーが住まいを訪問し、介護や外出の支援などを行うサービス	1	2	1	2
(2) 行動援護・同行援護 外出の際の移動を支援するサービス	1	2	1	2
(3) 生活介護 施設などで、主に昼間に入浴や排せつ、食事の介護、創作活動や生産活動の機会を提供するサービス	1	2	1	2
(4) 自立訓練（機能訓練・生活訓練） 施設や住まい等で、自立して日常生活を営むために必要な訓練やリハビリテーション、相談などを行うサービス	1	2	1	2
(5) 就労選択支援 自分に合った働き方や就労支援サービスを主体的に選択できるような支援するサービス	1	2	1	2
(6) 就労移行支援 一般企業などへの就労を希望する65歳未満の人に、一定期間、就労に必要な訓練を行うサービス	1	2	1	2
(7) 就労継続支援A・B型 一般企業などでの就労が困難な人に、働く場を提供し、就労に向けた訓練を行うサービス	1	2	1	2
(8) 就労定着支援 仕事をしている人が仕事を続けられるよう、職場や家族との連絡調整や指導・助言などを行うサービス	1	2	1	2
(9) 療養介護 医療が必要でかつ常に介護が必要な人に、介護や日常生活上の援助を行うサービス	1	2	1	2
(10) 短期入所 家族が病気などで介護ができなくなったとき、短い期間、施設で介護を行うサービス	1	2	1	2
(11) 自立生活援助 施設や病院から出て一人暮らしを希望する人に、訪問やメール、電話での相談対応を行うサービス	1	2	1	2
(12) グループホーム 共同生活または住まいを提供し、介護や日常生活の支援を行うサービス	1	2	1	2
(13) 施設入所支援 障害者支援施設に入所し、主に夜間、入浴、排せつ、食事の介護などを行うサービス	1	2	1	2
(14) 地域移行支援 施設・病院からの退所・退院にあたって地域生活への移行を支援するサービス	1	2	1	2

障害福祉サービス名	現在の利用		今後の利用意向	
	利用している	利用していない	利用したい	利用しない
(15) 地域定着支援 単身等で生活する人に、緊急に支援が必要な場合の訪問や相談などの必要な支援を行うサービス	1	2	1	2
(16) 児童発達支援 施設において、障害のある子どもに見守り、社会に適応するための日常的な訓練やその他の支援を行うサービス	1	2	1	2
(17) 居宅訪問型児童発達支援 重度の障害などのため外出が困難な子どもに対して、住まいを訪問して発達支援を行うサービス	1	2	1	2
(18) 放課後等デイサービス 放課後や休日に、施設で、障害のある子どもに必要な訓練、社会との交流促進などを行うサービス	1	2	1	2
(19) 保育所等訪問支援 支援員が保育所等に訪問し、障害のある子どもが集団生活に適応できるよう専門的な支援を行うサービス	1	2	1	2
(20) 障害児相談支援 障害児通所支援を利用する子どもや保護者に対して、サービスの利用のための支援や調整を行うサービス	1	2	1	2
(21) 移動支援 社会生活上不可欠な外出、余暇活動など社会参加のための外出を支援するサービス	1	2	1	2
(22) 日中一時支援 障害のある人を介護している家族が、緊急時や休息が必要な際、障害のある人を日帰りで施設に預けられるサービス	1	2	1	2
(23) 訪問入浴 居宅を訪問し、浴槽や入浴機材などを提供する入浴介護サービス	1	2	1	2
(24) 地域活動支援センター 創作的活動または生産活動の機会の提供、社会との交流の促進などの便宜を供与するために必要な援助を行うサービス	1	2	1	2
(25) 補装具、日常生活用具の給付 車いす、補聴器、おむつなどの生活に必要なものの購入の補助	1	2	1	2
(26) 手話通訳者・要約筆記者の派遣	1	2	1	2

【問16の（１）～（１９）のいずれかで「利用している」と答えた方にお聞きします。】

問17 相談支援事業所に依頼して、サービス等利用計画書を作成していますか。（○は1つだけ）

1. 作成している

2. 相談支援事業所に依頼せず、保護者がセルフプランを作成している

問18 問17の状況に満足していますか。(○は1つだけ)

- 【問17で「2. 相談支援事業所に依頼せず、保護者がセルフプランを作成している」と答えた方にお聞きします。】

1. どの相談支援事業所に相談・依頼すればよいかわからないから
2. そもそも、障害児相談支援（使いたいサービスについての相談や調整）について知らないから
3. お子さんが使う障害福祉サービスは保護者自身で決めたいから
4. 障害福祉サービスの確保や調整を保護者が行うことができるから
5. 相談支援事業所を見つけることに時間がかかるから
6. 相談支援専門員と調整したり面談したりすることが苦手・大変そうだから
7. 障害児相談支援を利用しなくても、障害福祉サービスのことについて、相談できる人がいるから
8. 特に理由はない
9. その他（ ）

【ここからは、またすべての方にお聞きします。】

1. 保護者が気軽に相談できる機会
2. 進学相談・進路指導
3. 個々の障害にあった教育・療育の機会
4. 障害のない子どもとの交流
5. 児童・生徒の障害への理解を促す教育
6. 言語療法・理学療法・作業療法の機会
7. 放課後の居場所
8. 障害特性にあった教育環境
9. その他()
10. 特にない

問21 お子さんが保育所や幼稚園、学校生活を送る上で充実してほしいことは、次のうちどれですか。現在学校などに通っている・いないにかかわらずお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 通園・通学に対する支援 | 2. 学習面でのサポート体制 |
| 3. 学習・学校生活に必要な設備の整備 | 4. 園内・校内での介助 |
| 5. 進学・就職に関する支援 | 6. 障害に対する職員の理解促進 |
| 7. 他の児童・生徒や保護者の理解促進 | 8. 医療的ケアが提供できる体制 |
| 9. その他（ | ） 10. 特にない |

【問10で「2.」～「6.」のいずれかと答えた方（小・中学校、特別支援学校、高校、専門学校に通っているお子さん）にお聞きします。】

問22 お子さんは放課後や夏休みなどの長期休業中はどのように過ごしていますか。また、どのように過ごしてほしいと思いますか。（「現状」、「希望」でそれぞれにあてはまるものすべてに○）

①【現状】

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 自宅で家族と過ごす | 2. 祖父母宅で過ごす |
| 3. 友だちと遊ぶ | 4. 学習塾、習い事やスポーツ |
| 5. クラブ活動、部活動（学校内） | 6. 放課後児童クラブ |
| 7. 放課後等デイサービスなどを利用 | 8. 1人で過ごす |
| 9. その他（ | ） |

②【希望】

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 自宅で家族と過ごす | 2. 祖父母宅で過ごす |
| 3. 友だちと遊ぶ | 4. 学習塾、習い事やスポーツ |
| 5. クラブ活動、部活動（学校内） | 6. 放課後児童クラブ |
| 7. 放課後等デイサービスなどを利用 | 8. 1人で過ごす |
| 9. その他（ | ） |

7. お子さんの将来について

【ここからは、またすべての方にお聞きします。】

問23 お子さんには将来どのように暮らしてほしいですか。（○は1つだけ）

- | |
|----------------------------------|
| 1. 自立してアパートやマンションを借りるなどして暮らしてほしい |
| 2. 自宅で家族と一緒に暮らしてほしい |
| 3. 仲間と共同生活（グループホームなど）で暮らしてほしい |
| 4. 障害者入所施設などで暮らしてほしい |
| 5. その他（ |
| 6. わからない |

問24 お子さんの将来のことで不安に思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. お子さんの進学のこと | 2. お子さんの就職のこと |
| 3. お子さんの結婚のこと | 4. 友人や仲間、理解者がいるか |
| 5. 自立した生活ができるか | 6. 親が亡くなった後の住まいについて |
| 7. 親が亡くなった後の生活費について | 8. 親が亡くなった後の介護者について |
| 9. その他() | 10. 特にない |

問25 お子さんが将来、仕事に就くために重要だと思われることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 就職に向けた本人、家族の意識啓発 | 2. 就職に向けた相談 |
| 3. 給料が安定していること | 4. 就職先の紹介などの支援 |
| 5. 知識・技術などの習得 | 6. コミュニケーション技術などの習得 |
| 7. 本人の健康管理などの支援 | 8. 障害特性に配慮した職場環境の整備 |
| 9. 就職後の相談・支援(定着支援) | 10. 企業、上司、同僚の理解 |
| 11. その他() | 12. わからない |

8. 相談・情報について

問26 お子さんのことで現在、悩みごとや困ったことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. お子さんの育児や教育・療育のこと |
| 2. お子さんが受けている医療やリハビリのこと |
| 3. お子さんが受けている援助(介護)のこと |
| 4. 医療費、生活費など経済的なこと |
| 5. 外出や移動のこと |
| 6. かかりつけの病院や歯科診療所のこと |
| 7. 子育てや障害について必要な情報を得られないこと |
| 8. お子さんを強く叱責し、手をあげてしまうこと |
| 9. お子さんの友達や相談相手がいないこと |
| 10. お子さんの障害や必要な配慮について、周りの理解が得られないこと |
| 11. 学校行事や冠婚葬祭時などに預け先が見つからないこと |
| 12. その他() |
| 13. 特にない |

問27 普段、お子さんのことについての悩みや困ったことを、どなたに相談していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 家族や親せき | 2. 友人・知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 職場の上司や同僚 |
| 5. 施設や通所先の職員など | 6. ホームヘルパーや訪問看護の職員など |
| 7. 障害者団体や家族会 | 8. 医師や看護師 |
| 9. 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー | |
| 10. 民生委員・児童委員 | 11. 通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生 |
| 12. 特別支援学級、特別支援学校 | 13. 相談支援事業所などの相談員 |
| 14. 行政機関の相談員 | 15. 特に相談する人はいない |
| 16. その他 () | |
| 17. 特に悩みはない | |

問28 お子さんの障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース | |
| 2. 広報「とよかわ」や「議会だより」など市の広報紙 | |
| 3. インターネット | 4. 家族や親せき、友人・知人 |
| 5. サービス事業所の人や施設職員 | 6. 障害者団体や家族会(団体の機関誌など) |
| 7. 病院、診療所 | |
| 8. 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー | |
| 9. 民生委員・児童委員 | 10. 通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生 |
| 11. 相談支援事業所などの民間の相談窓口 | 12. 行政機関の相談窓口 |
| 13. その他 () | |
| 14. 情報は入手していない | |

問29 お子さんのことについての悩みなどを相談する場合、どのような場所・しくみであれば相談しやすいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------|--|
| 1. 障害がある人など同じ立場の人に相談できる | |
| 2. 窓口などで専門的な人に相談ができる | |
| 3. 民生委員など身近な地域に住んでいる人に相談ができる | |
| 4. WEBなどを使ってリモートで相談できる | |
| 5. 自宅などに訪問してもらえる | |
| 6. 電話でいつでも相談対応してもらえる | |
| 7. その他 () | |

9. 障害理解について

問30 お子さんは、障害があることで差別を受けたことや嫌な思いをしたことがありますか。（○は1つだけ）

- | | | |
|-------|---------|-------|
| 1. ある | 2. 少しある | 3. ない |
|-------|---------|-------|

【問30で、「1. ある」または「2. 少しある」と答えた方にお聞きします。】

問31 どのような場所や場面で差別を受けたことや嫌な思いをしましたか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 学校・職場 | 2. 仕事を探すとき |
| 3. 外出先 | 4. 余暇を楽しむとき |
| 5. 病院などの医療機関 | 6. 住んでいる地域 |
| 7. その他（ | ） |

【ここからは、またすべての方にお聞きします。】

問32 障害に対する市民の理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|-----------------------|
| 1. 広報や冊子による理解啓発 |
| 2. 障害のある人へのボランティアの支援 |
| 3. 学校での障害理解を深める教育 |
| 4. 障害に関する講演会や学習会の開催 |
| 5. 障害者作品展や交流イベントの実施 |
| 6. 障害のある人の就労・就学などの支援 |
| 7. 福祉施設の開放などによる地域との交流 |
| 8. 障害のある人の地域活動への参加 |
| 9. その他（ |
| 10. わからない |



問33 あなたやお子さんは、近所の方とどの程度のお付き合いがありますか。最もあてはまるものを選びください。（○は1つだけ）

- | |
|----------------------|
| 1. 困ったときお互いに助け合える程度 |
| 2. お互いに訪問し合う程度 |
| 3. 立ち話をする程度 |
| 4. 顔を合わせたときにあいさつする程度 |
| 5. ほとんど付き合いはない |

10. 成年後見制度について

問34 成年後見制度についてご存じですか。（○は1つだけ）

- 1. 名前も内容も知っている
- 2. 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない
- 3. 名前も内容も知らない

問35 お子さんに対して、将来的に成年後見制度を利用させたいと思いますか。（○は1つだけ）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 利用させたい | 2. 利用させたくない |
| 3. 利用する必要がある | 4. すでに利用している |
| 5. わからない | |

11. 災害時対策や避難について

問36 お子さんや家族は、豪雨や地震などの災害時に避難する準備をしていますか。（○は1つだけ）

- | | | |
|---------|----------|----------|
| 1. している | 2. していない | 3. わからない |
|---------|----------|----------|

問37 家族が不在の場合などに、近所にお子さんを助けてくれる人はいますか。（○は1つだけ）

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. いる | 2. いない | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

問38 豪雨や地震などの災害時に困ることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1. 対応を自分で判断して行動することが難しい
- 2. 投薬や治療が受けられない
- 3. 補装具の使用が困難になる
- 4. 補装具や日常生活用具の入手ができなくなる
- 5. 自分の状態を周りに伝えられず、救助を求めることができない
- 6. 安全なところまで、迅速に避難することができない
- 7. 被害状況、避難場所などの情報が入手できない
- 8. 周囲とコミュニケーションがとれない
- 9. 避難場所の設備（トイレなど）や生活環境に不安がある
- 10. 障害などへの理解が得られず、避難場所で生活できない
- 11. 環境の変化に対応できるか（パニックにならないか）不安がある
- 12. その他（)
- 13. 特にない

12. 障害者施策全般について

問39 障害者福祉施策に対して重点的に取り組んでほしいことをお答えください。（〇は5つまで）

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 毎日の生活を手助けするサービスの充実 | |
| 2. 既存のサービスの質の向上 | 3. 障害に対する理解の促進 |
| 4. 就労を促進する訓練や支援の充実 | 5. 障害のある人が働ける企業を増やす |
| 6. リハビリ訓練の場所の充実 | 7. 障害に適した住宅の整備 |
| 8. 公共施設、駅などのバリアフリー化 | 9. 入所施設やショートステイの整備 |
| 10. グループホームの整備 | 11. 災害時の支援 |
| 12. 相談しやすい窓口の設置 | 13. 経済的な援助の充実 |
| 14. スポーツや文化活動への参加支援 | |
| 15. その他（ | ） |
| 16. 特にない | |

問 40 お子さんの介助や支援に関連し、本人のきょうだい（兄弟・姉妹）について不安や困りごとがありますか。（〇は5つまで）

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 1. 本人のきょうだいはいない | |
| 2. きょうだいの学校・学業に影響がある | |
| 3. きょうだいの就労に影響がある | |
| 4. きょうだいが好きなこと・やりたいことを我慢している | |
| 5. 本人の介助や支援をきょうだいのみに任せなければいけないときがある | |
| 6. きょうだいの家事の負担が大きい | |
| 7. 保護者がきょうだいに十分に接する時間が取れていない | |
| 8. きょうだいと本人の関係がうまく保てない | |
| 9. 将来、きょうだいに介助や支援の負担がかかる | |
| 10. その他（ | ） |
| 11. 特にない | |

問 41 保護者への支援としてどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（あてはまるものすべてに〇）

- | | |
|---|---|
| 1. 保護者同士が交流したり、話し合えたりする場の充実 | |
| 2. 本人の育児や介助・支援から離れて休息できるサービスの充実 | |
| 3. 家事や育児の支援 | |
| 4. 本人の育児や介助・支援の状況に柔軟に対応してくれる職場環境や働き方の普及 | |
| 5. 支援制度や福祉サービスなどの情報提供・相談窓口の充実 | |
| 6. その他（ | ） |
| 7. 特にない | |

最後に、障害福祉サービスや行政の取組について、何かご意見がありましたら、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れ、ご返送いただくか、WEBにて
7月29日（水）までにご回答ください。（郵送の場合は切手不要）



豊川市総合保健センターがオープンします！

令和8年7月27日に、「すべての市民の健康づくりを総合的に支援する拠点施設」をコンセプトとして豊川市総合保健センターを開設します。

この施設には、保健センター、こども家庭センター、内科・小児科及び歯科の休日夜間急病診療所などが集約されます。また、障害のある18歳未満の者を対象に総合的な支援を行う「児童発達支援センター」の機能も移転併設され、障害児支援についても強化が図られます。

市民から相談しやすく、さまざまな分野と連携をとりながら支援を受けやすい環境が整備されます。

【場所】

〒442-0848

豊川市白鳥町兎足1番地の5

